

式 辞

本日ここに、神原小学校第62回卒業式を挙げるにあたり、保護者の皆様にご臨席を賜りました。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況や、新体育館工期関係により、卒業式挙行についても心配しておりましたが、このように、厳粛な中にも、あたたかさがみなぎる卒業式を執り行うことができますことに心よりお喜び申し上げます。

神原小学校第62期卒業生、60名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの晴れの門出を心からお祝いいたします。

この6年を思い起こすと、楽しかったこと、苦しかったこと、感動したこと等、様々な出来事が、今、心によみがえっているかと思います。特に最上級生となった今年は、多くの学校行事が中止となり、とても残念な思いを抱いたことでしょう。唯一の大きな学校行事、修学旅行。このポーズを覚えていますか？そうです。「ジャンパー」のかけ声でイルカが水面からいきおいよくジャンプしましたね。まさしく、これからの皆さんのようです。この1年を悲観することなく、6年生で貴重な経験をしたと思ってください。『道がなければ、回り道をいけばいい、それでもなければ道を作ればいい。そして、イルカのように楽しそうに何度もジャンプすればいい。』それがサステイナブル・持続可能な社会の担い手としての一歩になると信じています。そして、マサ・マジックさんからいただいたプレゼント。「いつかその日は来る。続けている人にチャンスは来る。ビリーブ」を忘れず、好きなことに向かってチャレンジを続ける中学校生活を送ってください。

そして今までも、これからも皆さんの周りにはお父さん、お母さん、家族を始め多くの方々がいることに感謝して歩んでください。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。大きなランドセルがこんなにも小さくなりました。成長したお子様の雄姿に感慨深いものがあるのではないのでしょうか。入学からの6年間、お子様の健やかな成長を見守り、励まし、支えてこられたことに対し、深く敬意を表します。また、PTA活動や学校行事へのご参加等、本校教育活動に対し、多くのご支援、ご協力を賜りました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

結びに、まだまだ続くコロナ禍ですが、卒業生、一人一人が、どのような状況が来ようとも、しっかりと自分の未来を見つめ、考えて行動できる中学生へとたくましく成長し、活躍することを祈念し、式辞といたします。

令和3年3月24日
那覇市立神原小学校
校長 石垣 史昭